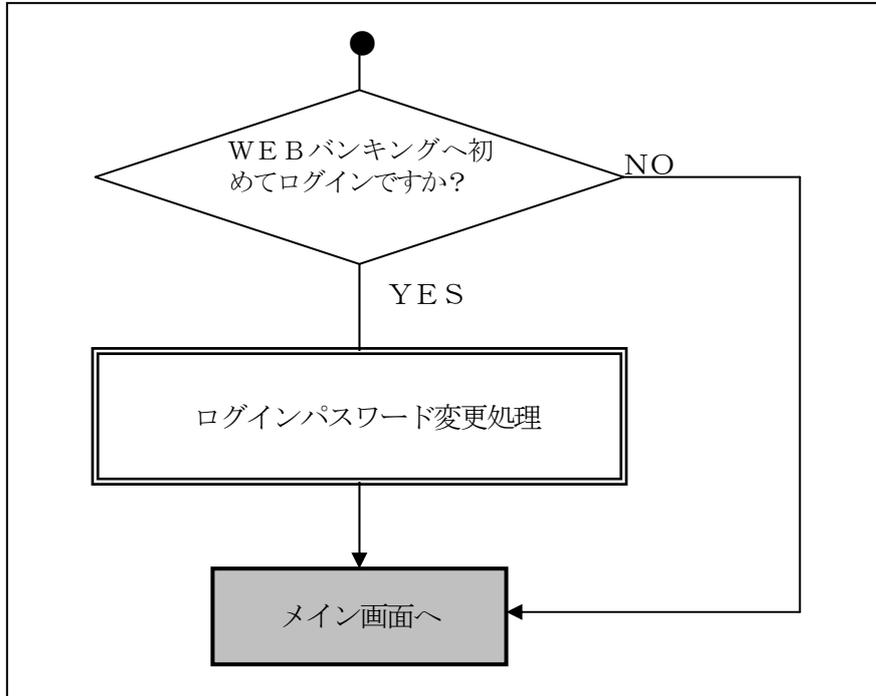


第3章 認証処理

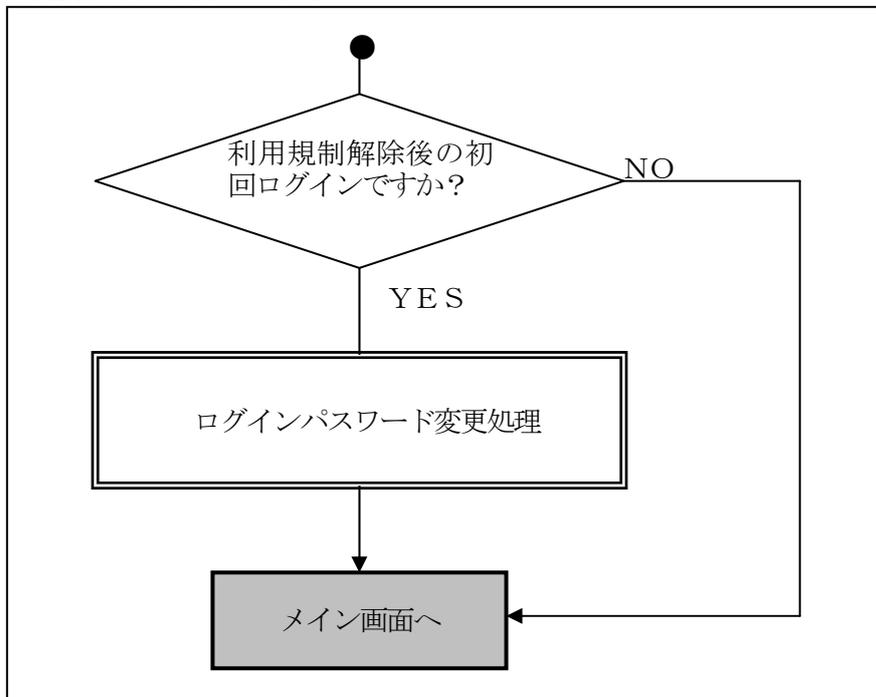
1. 認証処理フロー

認証における処理フローは次のとおりです。

(1) 初回ログイン



(2) 利用規制解除後のログイン



2. ログイン

かけしんホームページにてWEBバンキングメニューの「ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。

ログインは、ログイン画面で「契約者ID」および「ログインパスワード」を入力することにより行います。

(1) ログイン可能時間

ログイン可能時間は次のとおりです。

	開始	終了
平日・休日	8 : 00	22 : 00

(2) ログイン画面

- ① 契約者ID (6～12桁の半角英数字)
契約者IDを入力します。

- ② ログインパスワード (6～12桁の半角英数字)
契約者IDに登録されているログインパスワードを入力します。
入力したログインパスワードは画面上「*」で表示します。

(3) ログインパスワード変更画面

- ① 変更後ログインパスワード (6～12桁の半角英数字)
今後利用するログインパスワードを6～12桁の半角英数字で入力します。
なお、入力したログインパスワードは画面上「*」で表示されます。
<留意事項>
 - ・変更前のパスワードと同一のものを変更後のパスワードとして設定することはできません。
 - ・ログインパスワードに契約者IDと同一のものを設定することはできません。
- ② 変更後ログインパスワード再入力
確認のため、①で入力した変更後ログインパスワードを入力します。

3. ログアウト

(1) 通常ログアウト

通常ログアウトする場合は、画面上にある「ログアウト」ボタンを押下することでログアウト処理が実行されます。

上記以外の操作 (ブラウザの終了等) によるログアウトは異常ログアウトとなるため、次回ログインする場合は、強制ログアウトしないとログインできなくなります。

(2) 認証タイムアウトによる自動ログアウト

本サービス利用中に15分以上ブラウザ操作を行わなかった場合、システム側では当該ユーザを強制的にログアウトします。

認証タイムアウトとなったユーザが継続してサービスを利用しようとした場合、エラー画面にて認証タイムアウトとなったことを表示します。

<認証タイムアウト判定条件>

「メニュークリックによる画面遷移」「検索」「実行」等のボタン操作が15分以上なかった場合に認証タイムアウトとなります。

ただし、プルダウンメニュー・ラジオボタン・チェックボックス・テキストフィールドにおける入力操作またはリセットボタンは判定条件に該当しません。

(3) 強制ログアウト

異常ログアウトによりシステム側でログイン状態が正常にクリアされなかった場合に、システムでは強制的にログアウトを行います。

① 強制ログアウト方法

強制ログアウトの条件に合致したユーザがログインしようとした場合、強制ログアウトになったことを通知するエラー画面を表示し、「強制ログアウト」ボタンを押下することで強制ログアウト処理を行います。

② 強制ログアウト対象条件

a. 前回利用時の異常終了

前回システム利用時に異常終了した場合や15分以上ブラウザ操作を行わなかった場合の自動ログアウトが強制ログアウトの対象となります。

<前回異常終了の条件>

- ・ブラウザの終了（ファイルメニューの閉じる）
- ・WEBバンキング処理中における電波圏外となった場合
- ・ログイン中の他サイトへの移動

b. 二重ログイン

ログイン中の契約者IDで、再度ログインした場合、最初にログインしている契約者IDが強制ログアウトとなります。